

南岡山医療センターの内視鏡の特徴

電話予約が可能です

苦痛が少なく検査できます

胃カメラ

- 胃カメラは細い径の経鼻(鼻からの)内視鏡を使用するので、苦痛は少なく安全な検査を受けられます。
- 胃カメラのみの場合、通常は鎮静剤なしで検査を施行しております。
ご希望により鎮静剤の使用も可能です。



大腸カメラ

- 大腸カメラの場合、通常は鎮静剤を使用して苦痛の軽減を図っております。



胃カメラ+大腸カメラ

- 大腸カメラと同じ日に胃カメラを追加することもできます。(事前にご連絡下さい)
この場合、①胃カメラ、②大腸カメラの順で検査を行い、胃カメラのときから鎮静剤を使用して胃カメラの苦痛をより軽減するようにいたします。

胃がん・ピロリ菌の検査

日本人のがんの半数は 消化器のがん と言われています
胃がん・ピロリ菌の検査は胃カメラからです。
ピロリ菌の除菌もその後の治療で行えます。
健康保険の適用対象になっていますので、
お気軽にご相談ください。

胃がん・大腸がんの検査も行っています

以上のように、患者様およびご紹介いただきました先生方にご満足いただけるよう、誠意をもって内視鏡検査を行っております。
今後とも、消化器内科を何卒よろしくお願い申し上げます。

南岡山医療センター 消化器内科
医師 平野 淳

